

昭和学院秀英中学校・高等学校

市進学院主催 学校訪問会レポート
2019年 6月 27日 (木)

2019年6月27日、昭和学院秀英中学校・高等学校の学校訪問会が行われました。

中学校・高等学校ともに多くの保護者にご参加いただきました。

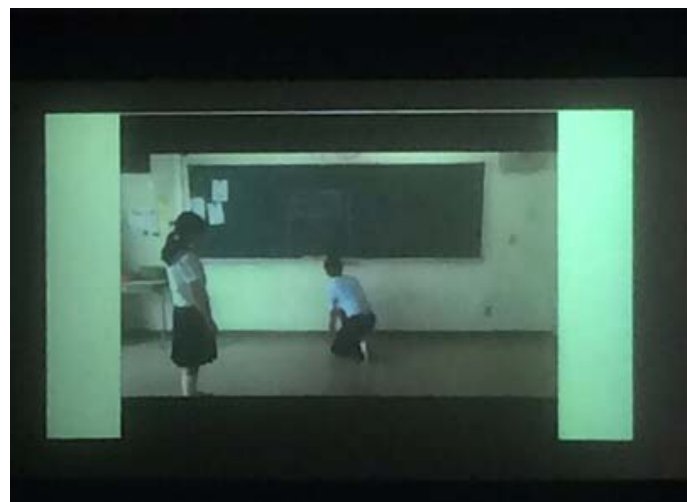


鈴木校長から「国公立大の合格者数は過去最多となったが、難関大に入るという目先の目標だけでなく、社会でどのような役割につくか、グローバルな視点をもって考えていく生徒を育てたい」とのお話がありました。

橋本副校長からは入試制度の変更についてのお話がありました。大きな変更点は、中学校の12/1の一志入試と、高校の後期入試をやめるということでした。また、中学入試では算数の大問を1問増やすそうで、「計算のスピードと正確性」に気をつけてほしいとのことでした。



長谷川先生からは、「質の高い授業」「主体性を持たせる活動」「進路指導」の3点についてお話がありました。定期テストに小論文が合ったり、英語の授業では東大入試を題材に英語での寸劇を行ったりと、学校独自の工夫が見られました。



目先の大学入試はもちろん、その先も見据えた勉強に取り組ませたいという点が印象的でした。夏休み中の説明会では校内見学や体験授業を企画している回があったり、9/15(日)には文化祭を一般公開していたりするので、ぜひお越しくださいとお話をいただきました。